

三浦かずとし県議の代表質問

2月27日

東京五輪『長沼ボート場』誘致

決定過程が不透明

異常な県政運営を批判

三浦県議

問題なのは、知事が一人で決めているトップダウンの県政運営だ。東京オリンピック・パラリンピックの『長沼ボート場』誘致についても、二ヶ月半の間、一度も政策財政会議や庁議で議論されていない。情報公開を求めても何もないとの事。こんな異常な県政運営があつていいのか。もっとも強調したいのは、知事のトップダウンの姿勢だ。

記録や議事録などで中身を残すべき。改善してほしいと言っている。

■村井知事

全ての議論を議事録や復命書を作ると、それだけで大変な仕事になってしまうが、出来るだけ丁寧に残していくように努力する。

復興住宅の

家賃補助を

三浦県議

県は復興住宅を自らの責

女川原発再稼働の是非と

実効性ある避難計画について

三浦県議

県として実効性ある避難計画を作る上で、どのような援助をしていくのか。30キロ圏の退域検査ポイントは何か所、どこに設置するのか。

■村井知事

『広域避難計画作成ワーキンググループ会議』などで、関係市町と候補地について意見交換を行ってきたが、具体的な設置箇所については関係市町と協議しながら決定していく。

任では二戸も作らず、国保・介護利用料の免除も市町村まかせになっている。せめて復興住宅の家賃を県も支援すべきではないか。(女川町・名取市・南三陸町は独自支援)

■村井知事

独自支援は考えていない。

三浦県議

環境生活部が平成28年3月に策定した水道ビジョンには、水道事業の一部を民間企業に売り渡す危険性をほらんだ「上地下水体化官民連携運営方式」は切でてこない。内部で協議したのか。これもトップダウンではないのか。

■村井知事

その当時はたたき台が出来た前だったので折り込んでいなかった。今後はオープンな場で議論していく。



大谷川・小積浜

新設トンネルへ大きく前進

三浦県議

牡鹿地区寄磯浜からの避難には小積浜を結ぶトンネルが必要で、地元の強い要望もある。全国的にも原発避難道路や生活道路として必要だ。知事が先頭に立って推進すべきと思うがどうか。

■村井知事

県としては、県道としての必要性を整理したうえで、どのような事業手法が可能かなど、国と協議を行っている。牡鹿地区住民の安全・安心

農家の負担を軽減すべき

三浦県議

土地改良区の排水機場などの維持費の負担割合は、国30%、県30%、市町村30%、残りは農家負担だった。しかし

し、年々県の負担を減らし、ついには平成23年度採択事業(中津山・名取・河南など)から県負担は1%となった。市町村と農家負担が69%にも拡大する、改善を求める。

「前期・後期選抜方式」をやめて

高校入試制度を改善すべき

三浦県議

入試選抜のあり方に関する意見聴取会でも改善を求める声が相次いでいる。審議会の答申案では日程の一本化がも

とめられた。早急に制度を見直すべきだ。

■教育長

早急に入試制度の見直しをしていく。

サン・ファン・パウティスタ号の

取り扱いには慎重に対応を

三浦県議

慶長遣欧使節船復元船サン・ファン・パウティスタ号

の周辺立ち入り規制は硬直的で柔軟な対応に改善するよう求める。

また、年度末までに方向性を出すとしているが、様々な保存方法も含めて石巻市と十分に協議し、慎重に検討するよう求める。(知事は明確な答弁をしませんでした)

尚、県議会ホームページで再録されておりご覧いただけます。

村井知事のトップダウンによる 県政運営を改善するよう求める



三浦かずとし
県議会報告



第13号
2017年3月号

発行
三浦一敏事務所
石巻市中里4-3-39
TEL 0225-94-1211